

加入医療保険の種類が被保険者当たり有病率に与える影響の検証－社会医療診療行為別調査と健康保険組合データの比較－のお知らせ

帝京大学大学院公衆衛生学研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 28 年 8 月 10 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 加入医療保険の種類が被保険者当たり有病率に与える影響の検証－社会医療診療行為別調査と健康保険組合データの比較－

〔研究目的〕 厚生労働省の主要な傷病統計である社会医療診療行為別調査は全国データのみが公開されているため、年齢構成の異なる健康保険組合の状況と乖離が生じている可能性について実際のデータを用いて検証することが本研究の目的です。

〔研究意義〕 わが国の医療保険制度は、国民健康保険、後期高齢者医療制度、被用者保険に大別されます。厚生労働省の主要な傷病統計の一つである社会医療診療行為別調査は全国データのみ公開されています。保険制度の違いに注目した分析を実施することで、今後のわが国の医療制度をより実情に即した形で検討する上でのデータの信頼性が向上します。これにより、今後の医療制度設計をより現実に沿った形にすることが可能となります。

〔対象・研究方法〕 株式会社日本医療データセンターが所管する医療保険被保険者数約 147 万人のレセプトデータから算出される有病率と、わが国全体を代表する統計調査である社会医療診療行為別調査から算出される有病率の違いを年齢構成の影響を調整した上で検証します。

〔研究機関名〕 帝京大学大学院公衆衛生学研究科、福岡大学医学部衛生公衆衛生学、福岡大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕 対象者の氏名など、個人を特定可能な情報は株式会社日本医療データセンターによって全て削除され、外部のデータベースと連結不可能な形式に変換した上で研究機関に提供されます。そのため、研究機関において個人を特定することは不可能です。また、研究成果を公開する際には統計処理を行った個人が特定されない形式の集計結果のみを発表します。

〔その他〕 本研究は厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(統計情報総合研究))患者調査に基づく受療状況の解析と総患者数の推計に関する研究(H27-統計-一般-001)の一部として実施されます。対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授 谷原真一

住所：〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1

TEL： 03-3964-1211（代表）〔内線 46224 〕